

獨協医学会

会 長 稲 葉 憲 之 (獨協医科大学学長)

運営委員会委員

簀持 淳*	石光 俊彦**	秋山 一文	阿部 七郎	安西 尚彦
石井 芳樹	大類 方巳	桑島 成子	小島 勝	富田 茂樹
篠田 元扶	杉本 博之	鈴木 純恵	千種 雄一	中元 隆明
西山 緑	濱口 眞輔	春木 宏介	平林 秀樹	菱沼 昭
緑川由紀夫	宮本 智之	森田 公夫		

*委員長 **副委員長

Dokkyo Journal of Medical Sciences 編集委員

石光 俊彦*	千種 雄一**	秋山 一文	阿部 七郎	安西 尚彦
石井 芳樹	小島 勝	篠田 元扶	中元 隆明	濱口 眞輔
菱沼 昭	森田 公夫			

*委員長 **副委員長

編集事務員

鯉沼 行子

編集後記

Dokkyo Journal of Medical Sciences Vol. 40, No.3 (獨協医学会雑誌 第40巻3号)をお届けします。本号は原著論文4編、症例報告3編が掲載されており、各領域の先生方による貴重かつ有益な論文をご覧いただけたと思います。

また、特集として、今回は「地域医療」を取り上げました。因みに、2010年は「予防医学」、2011年は「疼痛」、2012年は「災害医療」と、いずれも各領域の先生方の知識と経験が結集された内容でありましたが、本企画においても、JA長野厚生連佐久総合病院地域医療部地域ケア科医長の色平哲郎先生、県保健福祉部部長の名越究先生、国立病院機構宇都宮病院院長の沼尾利郎先生、栃木県医師会副会長の前原操先生、医療法人陽気会在宅ホスピス・とちの木所長にして在宅緩和医療のスペシャリストである渡辺邦彦先生、県の周産期医療の現状に詳しい産婦人科開業医の代表として木内敦夫先生、「ミャンマーファミリー・クリニックと菜園の会」代表として国際医療で活躍されている名知仁子先生といった、少なからず獨協医科大学と関わって下さっている本学外の先生方と、本学の地域医療や連携医療に造詣が深い竹川英宏先生、千種雄一先生方から、貴重な総説をご寄稿いただいております。

地域医療は「地域住民の健康維持と増進を目的とし、医療機関主導で地域の行政機関・住民・企業などと連携して取り

組む総合的な医療活動であり、疾病の治療・予防、退院後の療養・介護・育児支援など幅広い分野に及ぶ」と定義されており、その概念が一般化したのは、長野県にある諏訪中央病院や農村地域で医療を行っていた佐久総合病院などの活動と聞いております。色平先生の総説はその意味でも本企画に相応しいものでありましょう。地域医療は1980年代には予防と治療の一体化、1990年代には医療と福祉の一体化が課題となり、現在は予防医療、患者にやさしい医療、医療に継続して提供される福祉などを包括して提供することが目標となっておりますが、このように地域医療が発展するためには、上述の住民・行政・医療機関の連携もさることながら、医療機関同士の連携も重要な因子となるでしょう。パブリックヘルスの知識整理と連携医療の在り方の再考のためにも、本特集が読者の裨益となりますよう期待しております。

甚大な被害を出した台風が一過し、徐々に秋が到来する気配を感じながら本稿を執筆しております。熱中症患者も激増した今夏を思い起こすと、エコ化や温暖化対策も立派な予防医学に、地域での取り組みは立派な地域医療になり得ると思います。まず、そこから頑張るのはいかがでしょうか。是非ともご賛同いただけるようお願いいたします。(濱口眞輔)

2013年10月20日印刷

第40巻 第3号

2013年10月25日発行

編集発行人

獨協医学会

稲 葉 憲 之

発行所

獨協医学会

製 作

教 文 堂

〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林880番地
獨協医科大学

Tel (0282) 86-1111 (内線2009)

〒162-0804 東京都新宿区中里町27

Tel (03) 3260-6136